

重点項目の対策スケジュール（第1期）について

■地震対策

		現状	対策スケジュール		
		H26年度末	H27年度	H28年度	H29年度
長周期地震動対策	重点1【法定】 浮き屋根式タンクの耐震基準適合数	64/114	30	20	
短周期地震動対策	重点2【法定】 準特定タンクの耐震基準適合数	132/143	6	5	
	重点3【自主】 球形高压ガスタンクの鋼管ブレースの耐震基準適合数	10/21	4		

重点1 浮き屋根式タンクの耐震基準適合

- 平成 26 年度末時点で、浮き屋根式タンク 114 基のうち 64 基が耐震基準に適合しています。
- 耐震対策が必要なタンク 50 基のうち 30 基が、平成 27 年度中に法定期限を前倒して対策を実施する予定となっています。

重点2 準特定タンクの耐震基準適合

- 平成 26 年度末時点で、準特定タンク 143 基のうち 132 基が耐震基準に適合しています。
- 耐震対策が必要なタンク 11 基のうち 6 基が、平成 27 年度中に法定期限を前倒して対策を実施する予定となっています。

重点3 球形高压ガスタンクの鋼管ブレースの耐震基準適合

- 平成 26 年度末時点で、球形高压ガスタンク 21 基のうち 10 基が耐震基準に適合しています。
- 平成 26 年 1 月に改正された耐震設計基準が適用されない既存のタンクの中で、基準に照らし耐震補強が必要と判明したタンク 11 基（現在、耐震診断中のタンク 14 基を除く。）のうち 4 基について、第 1 期中に耐震補強が実施される予定となっています。なお、残りの 7 基については、第 2 期以降に順次、耐震補強が実施される見込みです。

■津波対策

		現状	対策スケジュール		
		H26年度末	H27年度	H28年度	H29年度
屋外タンク貯蔵所 （許可容量：500kL以上10,000kL未満）の移動や配管破断による油類流出対策	重点4【自主】 緊急遮断弁の設置タンク数	162/342	22		
	重点5【自主】 管理油高（下限値）の見直しタンク数	60/128	11		
避難対策	重点6【自主】 津波避難計画の改訂		全ての事業所が改訂・内容充実		

重点4 危険物タンクへの緊急遮断弁の設置

- 平成 26 年度末時点で、500kL 以上 10,000kL 未満の危険物タンク 342 基のうち 162 基に緊急遮断弁が設置されています。
- 新たに 22 基のタンクに緊急遮断弁が設置される予定となっています。

緊急遮断弁の設置義務があるタンク（10,000kL 以上のタンク）123 基全てに緊急遮断弁が設置されています。

【課題】緊急遮断弁の設置のタイミングが限定的である（開放検査時など、施設を一定期間停止しないと設置できない）。

重点5 危険物タンクの管理油高（下限値）の見直し

- 平成 26 年度末時点で、平成 25 年度の災害想定で南海トラフ巨大地震に伴う津波により移動する可能性があると考えられた 500kL 以上のタンク 128 基のうち 60 基の管理油高の下限値が見直しされています。
- 新たに 11 基のタンクの管理油高の下限値が見直しされる予定となっています。

【課題】一部の倉庫業では貸出先との調整が必要であることや、下限値の設定（見直し）を行うことにより施設の運用効率が低下するケースがある。

重点6 津波避難計画の改訂

- 全ての事業所が津波避難計画の内容を充実・改訂する予定となっています。